

□ ■ タイの医療事情及び医療制度 ■ □

島根・ビジネスサポート・オフィスの八木です。今回はタイの医療事情を紹介したいと思います。

【タイの伝統医学】

タイで日本人に人気を博しているものに、タイ料理、果物、民族舞踊、寺院、象等が挙げられます。それに加えて、忘れてはいけないのが「タイマッサージ」です。私も、ゴルフの後には恩恵にあずかっています。



ハーバルボール

タイマッサージは、遡ること約 2500 年前のインドに起源を持ち、ブッダの主治医だったシヴァカ・ゴーマラバット師によって編み出されたと云われている伝統医学の一つです。

同様に「ハーバルボール」も、派生形ながらタイ伝統医学のひとつとして現代に受け継がれています。木綿の布に様々なハーブを詰めて丸め、それを蒸して温めたものを身体にポンポンと押し当てていく療法です。こちらはチベット王国に起源を持つといわれており、タイでは産後ケアや疲労回復、免疫力を高めるために利用されてきました。タイの人々にとって誇れる、且つ欠かせない温熱医学療法のひとつです。

【タイの医療水準】

こうした伝統医学をはじめとして、タイの医療は多様性を持っており、その水準の高さも近年注目を集めています。JCI(国際医療施設認定合同機構)により、2020 年 12 月時点で医療の安全と質の最高位、Gold Medal に認定された病院は世界全体で 1,000 施設程あり、タイはその内の 52 施設（日本は 30 施設）を有しています。これは世界 74 カ国中トップ 4 にランクインする数字です。なお、東アジアと東南アジアからラン

2021年4月

クインしているのは、中国（3位）、タイ（4位）、韓国（9位）、シンガポール（12位）、日本（15位）の5ヶ国です。

タイ政府はこの資源を活用して、医療ツーリズムを推奨しており、現在までに一定の成果を上げています。タイは医療ツーリズムの発祥の地とも言われております。歴史的には、2004年にタイ政府が、医療ツーリズムを国家政策とするべく「タイをアジアの医療拠点として開発する」という5カ年計画を打ち出しました。この計画は（1）高度な医療サービス（2）スパや古式マッサージなどホスピタリティ溢れるヘルスケアサービス（3）タイのハーブ製品の3つの主要領域を推進するものです。主として民間病院が提供する高水準医療の提供と魅力的な観光資源を組み合わせた計画になっています。

タイでは、欧米やシンガポールなどよりも安価に医療サービスを受けられることもあり、隣国ミャンマー、ラオス、カンボジア、インドの一部の富裕層や、国民所得の高い中近東諸国、欧州からサービスを求め多くの人々が訪れています。その数は2001年の約60万人から2012年には約253万人に増加し、2018年時点で、2021年には300万人に達するという試算がされていました。残念ながら、2020年初からのCOVID-19の感染拡大により、現在は一時的に減少しています。



ソンクラーナカリン王子 出所：マヒドン大学 HP

### <タイの医療インフラ>

タイが現在有する医療インフラは一朝にして築かれたものではありません。主として次の三つに起因するものとされています。

#### 1) 優秀な医療関係者の育成

弊社のタイ人社員曰く、やりがい、使命、人生観等は二次的に、頭の良い子は医者を目指し、周りもそうすることが当然とする傾向がある模様です。タイにおける医者という職業の社会的地位や給与の高さから来る考え方ようです。

現在のタイの医療制度の礎を作ったのは日本の明治天皇とほぼ同時期にタイを統治したラマ5世、チュロンコーン大王ですが、その後の大きな推進役となったのが、現国王ラマ10世の祖父に当たるソンクラーナカリン王子です。王子は、ハーバード大学で医学を学び、後の1926年に同大学で公衆衛生学の博士となります。1929年、タイへ

2021年4月

の帰国中に38歳の若さで逝去されました。王子の意志を受け、タイ政府は世界保健機関などが途上国では行うべきとしていた施策を率先して実施しつつ、地域でのプライマリーケアや公衆衛生活動などに国を挙げて取り組んできました。結果、国全体の医療の80%は公的医療がささえる現体制が出来上がりました。

タイの医療発展に大きく寄与した王子の功績をたたえ、1943年に医学の単科大学として設立された大学に幼名であるマヒドーンの名が冠されています。このマヒドーン大学は、2015年のQS World University Rankingsで医学分野世界のトップ100の大学にランクインし、タイの東大と言われるチュラロンコン大学医学部と並び、タイ医学界の最高学府とされています。



マヒドーン大学バンコクノイーキャンパスとシリラート附属病院  
出所：シリラート病院 HP

## 2) 東南アジアでは革新的な医療保険制度への取り組み

項目	公的医療制度			民間保険
	公務員医療給付制度 (CSMBS)	社会保障制度 (SSS)	国民医療保障制度 (UCS)	
被保険者	公務員	民間被用者	CSMBS・SSSの対象外の人	富裕層・外国人
家族のカバレッジ	加入者と家族	加入者のみ	選択加入可	商品による
加入者	約600万人	約1200万人	約4900万人	約1700万人
使用可能医療機関	公立病院	登録病院（主に公立）	登録病院（主に公立）	登録病院（公立 私立）
財源	税金	給与天引き（5%）	税金	加入者負担
管轄	財務省	労働省	保健省	民間保険会社

出所：野村総研「タイにおける介護ビジネスサービス」

タイの医療保障制度は、①公務員に対する医療給付 ②民間企業の被用者が加入する社会保険制度による医療給付 ③農民・自営業者などを対象とした国民医療保障の3つの制度により、不十分ながらすべての国民が公的医療保障の対象となっています。2002年9月から30バーツを支払うことで1回の外来が可能な「30バーツ医療制度」が施行されたことにより、国民皆保険制度が整備されました。これにより形式的には自己負担なく無料で受診が可能となりました。しかし、返還額の上限が設定されているため、タイ国を代表する国際的な高級病院などでは国民皆保険の患者は一切受け入れていません。そして、無料で受診する場合は1人1人決められた病院（居住地に応じて指定）に行かなければならないという制約があります。そのため、中所得層のタイ人は病院での受診を避け、市販薬に頼るといった傾向がみられます。

### 3) 公的医療機関による医療サービスの整備

タイ駐在経験のある日本人医師は医療について次のように語っています。「私的医療の割合が25%を超えるようになると、公的機関にいる優秀な医療従事者や軽症患者までもが私立病院に流れる可能性が高まる。また民間医療と公的医療のサービスの格差も大きくなり、患者の不満足感を助長するため、制度崩壊の危険がある。貧富の差も大きく、自由市場を享受している社会背景があるタイにおいて、公的医療の占める割合を80%で維持し、特に地方におけるプライマリーの医療施設の質を保ち、制度を維持している背景には、公衆衛生のマインドを持った医師たちの活躍がある。」こうした使命感をもった医師の存在により、優秀な医師が民間医療に流れることなく、公的（政府・軍系）病院が人材を確保し、公的病院のサービスが保たれていると考えられます。

#### 【タイの医療機関】

タイでは、国公立病院などの公的医療機関(県レベル 75、保健省/軍傘下 127、郡レベル 941、これに紐付けられた村単位のヘルスセンター、コミュニティヘルスポスト、並びにプライマリー・ヘルス・センター (PHC) を加えて累計 79,000 余 : Thailand Health Profile 2001-2004 参照) に、300 余の民間医療機関が併存しています。この医療網による一時医療のカバー範囲は、一部の山岳地帯をのぞき、非常に広域であると言えます。その一方で現在、医療現場の課題となっているのは医療従事者の偏在です。北東部を中心とした地方では慢性的に医師が不足しており、人材が集中する都市部における医師集中度は北東部の7倍程と大きな偏りが出ており、この是正が必要とされます。

公的医療機関ですが、都市部以外でも、一部地域の中心的な基幹病院では高度な医療が行われています。公立病院は医療費が安いのが大きな魅力なのですが、その年間予算は不十分で、医薬品等の使用にも制約があります。どの病院も終日患者で溢れ返っているため、外来受診は長時間待つことが常態化しています。医師は基本的には英語が話せますが、看護師や事務関係者はタイ語しか通じない場合も多いです。

また、農村部など一部の貧困地域では自治体や保険所が、PHC として病院の代わりに簡単な診察と処方無料とするケースもあります。民間医療機関は、日本とは異なり株式会社、ヘルスケア企業の形態をとり、都市部に集中しています。バンコクの代表的な私立病院の医療水準はかなり高く、日本の病院と比較しても遜色ありません。

2021年4月



バンコク バムルンロード病院 ロビー

出所：バムルンロード病院 HP

タイは自由診療制を採っているため、タイ人でも高額な治療費を払える高額所得者層(人口の10%相当)、医療ツーリズムで来泰する外国人、駐在する外国人や、出張者や旅行者を含めて7万人から10万人いると言われる日本人をターゲットに据える病院が多いです。

特に日本人をメインとする病院では、日本の医学部を卒業したタイ人医師、或いは日本の病院で研修経験のあるタイ人医師や看護師、並びに日本人医師が対応します。日本人専門窓口が設けられ、診療時も

日本語通訳(日本人又はタイ人)が付き添うため、日本人患者が受診しやすい環境が整っています。ただ、一口に民間医療機関といっても、こういった大規模病院だけでなく、専門分野に特化した小規模なクリニックも存在します。

### 【最後に】

高齢化社会の進むタイでは、既に高齢化社会に入る日本をモデルケースと見て、特に医療や福祉介護の分野の技術やノウハウを積極的に自国へ取り入れようという姿勢が見られます。

実際に、2015年には大分大学医学部が、オリンパスも巻き込み、内視鏡外科手術の専門家育成をチュロンコーン大学とシリラート病院で開始しています。同年、鳥取県はマヒドン大学及びタイ工業連盟(医療機器部会)との間で「医療機器産業を担う人材育成」のMOUを締結いたしました。また、熊本県のクリニック(桜十字グループ)は、2019年タイに進出、総合医療サービスを展開しています。その他、日系の歯科、薬局等も含めタイの医療・教育機関との提携を結ぶ動きが活発化してきています。

タイは中進国の罫から抜け出し、所得レベルも上がり、先進国入りを果たす日も間近です。国民医療保障制度の施行、医療ツーリズムの推進、高齢化社会の進行や生活習慣の変化という社会環境の変化、医療水準の向上といった様々な観点から見て、将来的に医薬品や医療機器のニーズの高まりだけでなく、医療サービスについても、今後の更なる市場の拡大が期待されます。

☆☆「第7回ジャパンベトナムフェスティバル」レポート☆☆

～コロナに負けずベトナムでPRする日系企業・自治体～

2021年4月17日（土）、18日（日）にベトナム・ホーチミンで行われたベトナム最大級の来場者数を誇る日越交流フェス「第7回ジャパンベトナムフェスティバル」についてお伝えします。

【ジャパンベトナムフェスティバルとは？】

2013年、日本とベトナムが「手と手をとって」、を合言葉に誕生したジャパンベトナムフェスティバル（通称：JVf）は、日越両国の「相互協力」・「共存共栄」・「未来創造」をテーマとし、これまでに全6回開催されています。両国が相互に伝統・文化を理解し、観光・物産・技術の紹介や交流する場として、ベトナム最大級の日越交流イベントにまで成長しました。今回のイベントも、当初は2020年3月に行う予定だったのが、新型コロナウイルス感染拡大により2度延期となりました。現在、封じ込めに結果を出しているベトナムだからこそ、3回目にしてようやくの実施が可能となりました。また、今回コロナ禍による新たな試みとして、ベトナム会場を日本からの映像とつなぎ、リアルイベントとオンラインによる配信ネットワークや、デジタル通信技術を活用し「芸能・パフォーマンス」、「実習生交流」、「訪日プロモーション」を通じた交流も行いました。



第7回ジャパンベトナムフェスティバルのチラシ



会場入口の様子

## 【様々な出展企業に後援団体】

JVF には日本側からは、総務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、観光庁、独立行政法人国際交流基金、JICA、JASSO、JETRO、JNTO、在ベトナム日本国大使館、在ホーチミン日本国総領事館、一般社団法人日本経済団体連合会、ホーチミン日本商工会議所、など各省庁や団体などが後援団体として名を連ねています。出展企業も様々で、すき家、キッコーマン、エースコック、ハウス食品、明治、などのメーカー・食品関連から、アルソック、タニタ、ロート製薬、ファミリーマート、ヤマハミュージック、コーナン、

双日、三菱重工グループ、住友商事、北海道、岐阜市、帝京平成大学等など多種多様な業種がブースを構えて PR 活動を行っていました。（順不同、出展企業の一部を記載）今回、いくつかのブースでお話しを聞かせていただいたのでご紹介いたします。

## 【出展インタビュー/ニッスイロータス】

魚肉ソーセージでお馴染みのニッスイ。昨年末にベトナムに進出し、現在ベトナム人向け商品販売に向けて事業を進めている最中です。JVf でのブース出店の目的を聞いたところ「ブースで販売は行わず、ベトナム内需に向けた味のテストマーケティング」。まずベトナムで販売するのはチーズカマ（チーズかまぼこ）。今回のテストではチーズフレーバーの軽い物と強い物の 2 種類を用意して AB テストを行い、味の方向付けをするそうです。結果はフレーバーが強い物が好まれたようです。確かにベトナムではスーパーやレストランなどではチーズを利用した商品が多く見られるので、フレーバーが強い物が好まれるようです。今夏の販売に向けて楽しみです。



飲食関連のブースが並ぶ様子

2021年4月

### 【出展インタビュー/Tatami Style】

積水成型の置き畳「migusa(美草)」をベトナムで代理販売する Tatami Style。ブースを出店する理由は2つ、「実物を触ってもらう反応調査と、好みの畳の色を選んでもらう意識調査」。既にベトナムで畳は製造・販売されていますが、こちらのミグサの置き畳は通常の畳で使用されているイ草を使用せずに、積水成型が開発したポリプロピレンと天然無機材料をベースにイ草の構造をそのまま実現した新素材を使用しています。これにより、耐久性、耐水性に優れ、肌触りやクッション性など、天然イ草の風合いも感じられる高機能畳となっています。高機能な分料金は通常の畳と比べて高くなりますが、意識の高い富裕層や小さなお子様がいるご家庭のベトナム人達がその場で注文をしているようでした。ブースではただ畳を展示するだけではなく、着物や浴衣などの衣装をブース内で無料でレンタルし、黄金の茶室（ベトナム人はとにかく派手な物が好き）の背景に併せて写真撮影ができるという、趣向を凝らしたブースとなっていました。

### 【出展インタビュー/Daisy Trading】

ベトナムでハローキティやポムポムプリンなどサンリオの著作権を持っているこちらの企業は、サンリオキャラクターのサンダル・雑貨・お菓子などをブースで販売していました。ブース出店の目的は「サンリオ商品の PR 活動を販売先代理店の開拓」とのこと。ブースでは赤を基調としたメイド風の衣装に身を包んだ可愛い売り子さんが、積極的にお客さんに声を掛けている様子が印象的でした。小さなお子さんは勿論ですが、高校生や大学生ぐらいのベトナム人女性達が集まり商品を手に取り「キティちゃん、カワイイ！」と言っている様子に、サンリオキャラクターの認知度の高さを感じました。ベトナムでは数々のキャラクターのコピー・類似商品が流通している中、消費者には本物の商品の良さを感じて欲しいと思います。



人だかりが出来る SGO48 のブース

### 【出典インタビュー/SGO48】

今回のイベントで一番集客をしていたのは、SGO48（AKB48 海外グループのベトナム版）のブースでした。SGO48 は 2018 年にホーチミンで誕生した AKB48 海外グループの一つです。昨年専用劇場もオープンさせて、最近は満席が続いており、メンバーがベトナム最大手の E コマース Shopee(ショッピング)のメインアンバサダーにも選ばれるなど、現地在住日本人の間でも話題になっているアイドルグループです。ブースの目的は「既存ファンとの交流に、新規ファンの獲



2021 年 4 月

得」との事。既存ファンに向けて 1 回 5 万ベトナムドン（約 250 円）でお客さんが指定したメンバーがピンポン球をグラスに入れるミニゲームを行い、見事グラスに入ればランダムな景品をお客さんがもらえる仕組み。メンバー約 4-5 名ずつが時間を分けてブースに立ち、ゲームを行っていましたが、人気メンバーが来れば、ベトナム人ファンが我先にとお金を出し合う姿はファンの熱心さを物語っていました。また、ファンの 1 割ぐらいは在住日本人も見かけて地域に根付いて来ている印象でした。

### 【最後に】

主催者発表によると、コロナ禍にも関わらず今回の 2 日間のイベントで 228,000 人（81 社）もの来場者数を記録し（前回、2019 年は 329,000 人/137 社）出展者やお客さんの満足度も高いように感じました。今回紹介した企業以外にも様々な企業が趣向を凝らした取り組みをして PR 活動している様子が、ベトナムへの期待値の高さを物語っていると感じました。「一日でも早いコロナウィルスの収束と、国交回復に向けた地道な PR 活動を続けていく」、どの企業も同じ考えでした。



インスタントヌードルを提供する Acecook 社

### □ ■ タイのVIP配車サービス CABB ■ □

こんにちは。島根ビジネスサポートオフィスの柴田です。

今回は、2020年にバンコクでスタートした、タクシーサービス「CABB」について、実際にサービスを利用した感想も踏まえご紹介いたします。

#### 【CABBとは】

CABBとは、Asia Cab社によって2020年8月にバンコクで開始された新しいVIPタクシーサービスです。このサービスの最大の特徴が、紺色で統一されたイギリススタイルの車です。非常にシンプルなデザインで、街中で走っていてもよく目に付きます。外見のスタイリッシュさはもちろんですが、車内の設備も充実しており、後部座席のみ利用（助手席は利用不可）で最大5名まで乗車が可能で、車椅子やベビーカーがそのまま乗降可能なようにスロープが備え付けられています。また、無料のWi-Fiが完備されており、USB充電プラグもあるため、移動中にスマホの充電やWi-Fiへの接続が可能です。



The Mall グループのデパート前で待機するCABB

コロナ禍でスタートしたサービスのため感染対策も徹底されており、乗客を乗せるたびにドライバーによって車内が消毒されます。また、ドライバーとの接触を極力減らす車両の作りになっており、運転席と後部座席の間には透明な仕切りがあり、ドライバーとの会話には、車内に搭載されたインターコムシステムを利用します。運転席と後部座席に仕切りがあることで、後部座席の車内温度を乗客自身で調整をすることも可能です。タイのタクシーを利用する際に、車内の冷房が効きすぎて体を冷やすことが多いので、地味ですが非常にありがたい点です。その他、緊急時のSOSボタンやカメラレコーダーが設置されており、セキュリティ面の心配もありません。

サービスの利用方法は、①専用アプリ ②提携するショッピングモール経営会社 The Mall グループの運営するデパートに設置されているCABB Stand ③24時間対応のコールセンターへの電話 の3通りがあります。

### 【体験レビュー】

街中で見かけて気にはなっていないながらも、なかなか乗る機会がありませんでしたが、今回、このタイからの便りの執筆をよい機会に、実際に CABB のサービスを利用してみました。現在広くタイで利用されている一般のタクシーや、配車アプリの「GRAB」と比較しながら、同サービスについてレビューいたします。

### サービスについて

タイの一般のタクシーは、以前と比べると改善はされているものの、乗車拒否やぼったくり、メーター利用をしてくれないなど、マイナスなイメージが強い方もいらっしゃるかもしれません。また、車体も古いものも多く見られ、サービスの質にかなりのばらつきがあります。配車アプリの GRAB を利用すれば、事前に費用が表示されるため、金銭面でのトラブルを防ぐことができます。また、アプリ内では、車を呼ぶ際にドライバーの所有する一般車かタクシー、どちらを呼ぶか選ぶことができます。車が比較的新しいものが多いため、私は一般車を選択することが多いのですが、それにもかかわらずタクシーが配車されることがあるため、車両やサービスの質にはどうしてもばらつき



CABB の後部座席（最大 5 名）

が出てきてしまいます。

その点 CABB を利用すれば、必ず先にご紹介した車両が配車されますので、あたりはずれなく、高水準のサービスを受けることができます。車両自体がそれほど大きくはないので、5 人乗りだと少し手狭に感じるかもしれませんが、2、3 人であればゆったり足を伸ばして座ることができます。車椅子やベビーカーもそのまま乗せることができますので、清潔感という観点から見ても、特にご家族で利用するには最適のサービスではないでしょうか。

### 価格

VIP 向けのサービスですので、価格はタクシーや GRAB よりも割高です。通常のタクシーと比べて 1.5 倍程度の費用感であるように感じます。日本人の駐在員の方も多く住まれているプロンポン駅にある、エンポーリアムやエムクオーティエに CABB のスタンドがありますので、長くお買い物をして歩き疲れた後、大きな荷物がある際に利用されるのも良いかもしれません。なお、支払いは現金は不可で、クレジットカードやネットバンキング、モバイル決済など、キャッシュレス決済のみでの対応となります。

### 配車のスピード

今回私は、最寄りのショッピングモールのスタンドから、常駐している CABB を利用して移動をしましたので、配車を待つ時間なしに利用できました。実際にアプリを利用していませんが、まだ始まったばかりのサービスですので、車両の数が少なく、GRAB に比べると配車にかかる時間は長くなる可能性があります。

ただ、数日前から配車の予約をできますので、日本へご帰国する際に、フライトの時間に合わせて滞在しているホテルに配車をするという利用方法も可能です。



The Mall Thapra にある CABB スタンド

### **【最後に】**

近年では GRAB の普及により、特に外国人にとって、ドライバーと言葉を交わさずに車での移動が可能となりました。今回ご紹介した CABB についても、運営している Asia Cab 社は、サービス運営当初の車両の数、100 台未滿を 1 年以内に 1,800 台程度までに増やすことを目標としているため、今後更に CABB を街中で見かける機会が増えるのではないかと思います。

コロナウイルスが収束し、タイへの訪問が可能となった暁には、皆様もぜひ一度利用してみたいはいかがでしょうか。

2021年4月

※別紙に、年内に開催予定のタイ・インドネシア・ベトナムの展示会情報をまとめました。

サポートオフィスでは、現地で開催される展示会へのアテンドも行っております。

関心のある展示会がございましたら、お気軽にご連絡ください。

担当 ; 神谷 靖子 Yasuko Kamiya
Address : 1 VASU1 Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25, Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110
Tel : +66-(0)-2-261-1058
Mobile : +66-(0)-89-200-7763
Mail : shimane-bizsup@aapth.com

2021年4月

➤ タイ経済指標

項目	単位	2018	2019	2020	2021
GDP 成長率	前年比(%)	4.2	2.4	-6.2	-6.2(20年)
人口*	千人	67,869	68,021	68,152	68,161(1月)
労働者の数*	千人	38,353	38,207	39,451	39,451 (20年)
失業率**	%	1.06	0.99	1.62	1.62 (20年)
最低賃金*	バンコク	325	325	331	331
	チョンブリー	330	330	336	336
	アユタヤー	320	320	325	325
	ラヨーン	330	330	335	335
賃金: 全国製造業の平均	バーツ	12,831	13,131	13,562	13,562 (20年)
インフレ率**	前年比(%)	1.06	0.71	-0.84	-0.53(3月)
中央銀行政策金利*	%	1.75	1.25	0.50	0.50(5月)
普通貯金率**	%	0.47	0.47	0.31	0.25(4月)
ローン金利(MLR) **	%	6.32	6.29	5.60	5.42(4月)
SET 指数*	1975年:100	1,563.8	1,579.84	1,449.35	1,583.13(4月)
バーツ/100円**	バーツ	29.26	28.48	29.33	28.64(4月)
バーツ/米ドル**	バーツ	32.31	31.05	31.29	30.53(4月)
円/米ドル**	円	110.4	109	106.8	105.9(3月)
車販売台数(1月からの累計)	台数	1,041,311	1,019,602	779,857	198,394(3月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,469	1,500	1,501	1,501 (20年)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	549.48	447.36	361.41	361.41 (20年)

\*期末、\*\*平均